

# 田中研新聞

第103号

2021年  
12月14日発行

甲南大学知能情報学部田中研究室 ほぼ毎月発行  
http://carnation.is.konan-u.ac.jp  
編集責任 田中雅博

## 知的文章術入門

### 最近読んだ、お勧めの本

本書の著者は、がんの基礎研究を行ってきた人であるが、その傍らで、文章の書き方や科学者のためのいろいろなアドバイスの著書も書いてきた人です。私

が皆さんの卒論、修論を指導するにあたり、思うこと、言いたいことがこの本には数々書かれており、是非学生諸君にも読んで欲しいと思います、紹介します。

「はじめに」に書かれているとおり、「日本では文章の書き方、まとめ方は、きちんと教えられるまいま、学生は大学を卒業し社

会に送り出される」。言われてみるとそうですね。さらに、「わかりにくい文章を平気で書いている中央・地方官庁や、大中小企業の方」に読んで欲しい本と

言っています。私が目にする、学生諸君の書く文章は、メールなどと卒論やレポートに分かれますが、特に卒論では、ずっと頭に入っていないような文章を書く人がありま

す。本書の「わかりにくい文章、文書」(30ページ)の中で、「行政文書」が名指しされており、ひよつと

したら皆さんも、わかりにくく、読みにくい文章が高級だと思っている人がいるのではないかと思ってしまう。それは全くの勘違いであることが、この本を読めばわかります。日本語として使われているとはい

いがたい英単語をカタカナにした言葉ばかりで、日本語として極めて不十分な文章を国民の前に出し、いかにも難しいことや高級なことをやっている・やるというように見せかけるとい

う方法、国民を自ら不勉強と思わせ、黙らせる方法と

していることがわかります。しかし、本田勝一は反論していることがわかります。

著者は後者に与しているのですが、細かい言い回しで長年論争が続いたり、会議が長い理由として日本語の問題が根底にあるように私には思われます。ただ、そのおかげで、俳句のような文学があるのも事実でしょう。



黒木登志夫 Toshio Kuroki

## 知的文章術入門

「コピペ」はなぜ悪い?

ウィキペディアの賢い使い方?

文系・理系を問わず、求むは  
簡潔・明解・論理的

岩波新書

第3章 さあ、書き始めよう  
ここは、論文の書き方などについて、倫理などにも言及しながら、「一貫した筋書き」、「論文の構造と注意点」、「仕上げは念入りに」、「学術論文」のサブテーマに分けて記載されています。この章はまさに論文を書く前に読んで欲しい

第4章 情報を探そう、賢く使う  
サブセクションでは、「情報を探そう」、「ウィキペディアを賢く使う」、「並列読み」のすすめ、「スマホ脳にならない」、「フレイクニュースに引っかけられない」、「数字で考える」という構成になっており、まさに今日の問題を取り上げています。

第5章 パワポでプレゼン、オンラインで授業  
サブセクションでは、「パワーポイントでスライドを作る」、「プレゼンテーションをする」、「オンライン授業」の重要性が書かれています。私は、コロナが小康状態になるやいなや、対面指導に切り替えましたが、その考え方は間違っていないとこれを読んで確信しました。勉強は情報伝達をしていくだけではないので、講演を聞いているような気持ちでは頭に入りません。常に、講師の息遣いが聞こえるところ、いつ当たるかわからないような緊張感をもって授業を受けることが重要と考えています。逆に、情報伝達をするためのだけの会議、さらにはそれ

第6章 英語を学ぶ  
ここはまさに胸がスカッとすることが書かれています。サブセクションでは、「英語ネイティブへの恨み・つらみ」、「英語はやさしくて難しい」です。この1つ目は、私が国際会議に出たり英語の講演を聞くたびに強く思ったこと、相手は英語を母語としていないのに、なぜそんなスピードで話すのか、この本の著者も私と同じ感想をもっていたようで、そのようなネイティブを「無邪気で鈍感な英語ネイティブ」ととき下ろしています。私はそのようなネイティブをバカだと思っています。私には、クリスマスにメッセージを交換したり、フェイスブックで友達に入れていて時々やり取りする外国人の友人が数名あります。彼らの生まれは、中国、ロシア、ポーランド、ブルガリア、スウェーデン、インドネシア、アメリカ、オーストラリアで、彼らとはすべて英語でやり取りしますが、そのうちで英語ネイティブはわずか2名です。それ以外の人は全員学会などで知り合っただけで、ほとんど英語圏に住んでいる

第7章 英語を読み、聞き、話し、書く  
サブセクションは「英語を読む」、「英語を聞く」、「英語を話す」と、4つのスキルごとに書かれていて、大変参考になります。読むスピードは1分間に200語が必要で、当然ながら日本語を經由してたら達成できません。そのまま英語で読む必要がありません。聞くには、英語のスピーチを聞くのが良くて、私が授業で聞かせているTEDトークなどいいでしょう。「話す」にはいろいろ書かれています。サブセクションでは、「横メシ」という言葉が出ていて驚きました。私の学生時代の教授だった榎木義一先生がいつも言っておられたからです。この言葉は榎木先生の発明だと思いましたが、そうではなかったとは驚きです。意味は、英語を話す環境で食事を共にするということです。最も国際感覚が身に着くこと、間違いありません。私も、I I A S Aの食堂で1年以上、毎日実践していました。「書く」には、正確に書くことが挙げられています。

第8章 英語でメールを書く  
サブセクションでは、「役に立つ結びの文例」、「役に立つ結びの文例」となっています。文例集として使ってもらうことを狙ったのかも知れません。

に、講師の息遣いが聞こえるところ、いつ当たるかわからないような緊張感をもって授業を受けることが重要と考えています。逆に、情報伝達をするためのだけの会議、さらにはそれ

も必要とせず、単に「会議をし、過半数の賛成を得て決しました」というためだけに、反論しようもないような文書を議長が読んで証拠づくりにするような会議はもういい加減にやめてほしいものです。そのためには、大いにオンライン会議を推進すべきでしょう。

第7章 英語を読み、聞き、話し、書く  
サブセクションは「英語を読む」、「英語を聞く」、「英語を話す」と、4つのスキルごとに書かれていて、大変参考になります。読むスピードは1分間に200語が必要で、当然ながら日本語を經由してたら達成できません。そのまま英語で読む必要がありません。聞くには、英語のスピーチを聞くのが良くて、私が授業で聞かせているTEDトークなどいいでしょう。「話す」にはいろいろ書かれています。サブセクションでは、「横メシ」という言葉が出ていて驚きました。私の学生時代の教授だった榎木義一先生がいつも言っておられたからです。この言葉は榎木先生の発明だと思いましたが、そうではなかったとは驚きです。意味は、英語を話す環境で食事を共にするということです。最も国際感覚が身に着くこと、間違いありません。私も、I I A S Aの食堂で1年以上、毎日実践していました。「書く」には、正確に書くことが挙げられています。

第8章 英語でメールを書く  
サブセクションでは、「役に立つ結びの文例」、「役に立つ結びの文例」となっています。文例集として使ってもらうことを狙ったのかも知れません。

以上、本書を紹介しましたが、繰り返しのようになりますが、この本は学生諸君には非常に重要な本です。ぜひ一度、書店で手に取って見てくださ

今年も師走がやってきました。今年は10月からあとながずいぶん早い気がすると思つたら、授業が対面が始まった時期と重なっていることに気づき、そのせいか

年末の多忙な中を縫って、令和3年の最後になるであろう田中研新聞103号を発行します。今回は本1冊の紹介のみです。この本は、私が読んだだけではもったいないと思ひ、冬休みにも学生諸君に読んでほしいと思つて急遽紹介することにしました。

ただ、こうやって紹介しても、あまり学生がこの本を書店で手に取ったり買ったりしないような気がするのも事実です。最近、そういうことを押し付けるのは良くないという風潮がありますから、あくまでも、私が思っていることの独り言だと思つてくれたらいいです。

2022年は、ここ2年続いたコロナ禍がおさまることを心から願います。では、良い年をお迎えください!

編集後記

予定あれこれ  
12月15日(日) S I C E I S I 発表 張 荻野、岸  
12月19日(日) 甲南大学リサーチフェスタで張君と荻野君が発表  
1月17日(月) 田中教授、神戸市シルバークレッジで講義  
1月22日(土) 卒業研究発表会  
2月10日(木) 修士論文発表会  
2月28日(月) 3月1日 N C S P 22に田中と数名の学生が参加し、張君、荻野君が発表予定